

指定管理者管理運営評価シート

別紙 2

平成 27 年度

1 施設の概要

指定管理施設名	稲美町立憩いの館等
(施設所管課)	(教育政策部 生涯学習課)
指定管理者	NPO 法人 いなみ野万葉の森の会 代表者氏名 鷲野 隆夫
指定管理期間	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日
指定管理委託料	7,943,000 円 (平成 27 年度)

2 指定管理者による自己評価

評価項目	事業計画	実 績	A	自己評価
運営状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開館日数 ・ 開館時間 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 290日(修繕の為減少) ・ 9:30～17:00 (7月～9月) ・ 9:30～16:00 (10月～6月) 	A	憩いの館の開館日が少し減少したが、喫茶事業の運営方法を改善したため来客数が増加傾向になっている。今後ともサービス向上に努めていく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委託事業、自主事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 憩いの館管理 ・ 芝生管理 ・ 薬剤散布 (年3回) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 喫茶事業を行いながら、委託による年2回の大掃除及び朝夕の清掃により良好に保っている。 ・ 芝生の張替えを行い養生中 ・ 夏場の蚊の発生を防ぐため1回多くしたため効果があった。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の満足度 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間を通してアンケートを実施。ほとんどの人から満足との回答を得ている。 	A	平成28年1月から喫茶事業の運営方法を改善している。毎月1,000名を超える来客がある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ その他 (特記事項) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森の完成から28年が経過し、樹木の成長とともに森全体がうっそうとなり、万葉植物の成長も悪くなったため本年度から間伐・枝打を行っていく。 	A	複数年計画で森全体の樹木の間伐、枝伐等を行い、光の入る森に再生する。
施設維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃 (憩いの館) ・ 植栽等管理(シルバー) ・ 警備 ・ 修繕 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年2回 ・ 週2～3日 ・ 毎日 ・ ふじ棚 ・ 憩いの館構造合板張替 ・ 憩いの館壁掛け温水器 ・ 憩いの館便座取替 ・ 茶道具修繕 	A	定期的に行う清掃、日常的な清掃、警備、老朽化した施設管理、修繕。樹木の剪定、間伐、枝伐等効率的な維持管理を行った。

施設維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 松の剪定 枯松の伐採 スギ間伐 支障枝・枯枝除去 剪定 枝打 芝生張替 	<ul style="list-style-type: none"> 年14本程度 1本 2本 松 4本 モモ 1本 ウメ（白、赤） 3本 シダレザクラ 2本 クスノキ 3本 モチノキ 2本 65.0㎡ 	A	
	その他（特記事項）	池の泥さらえ	A	森の会有志により実施している。
利用状況	利用者数	11,823人 （年間総合計）	A	喫茶の来客数の増により増加した。 （内訳 喫茶6,936人 森4,887人）
	施設稼働率	1日平均40.7人の利用がある	A	喫茶の来客数の増による。
収支状況	収支計画	指定管理料等を有効かつ効果的に支出した	A	施設の維持管理に効果が出ている。
	経費削減等の取組み	森の会の会員による取組	A	植樹の管理、池の泥さらえの実施
運営体制	人員体制	<ul style="list-style-type: none"> 事務局 1人 受付事務 3人（交代） 管理事務 1人 喫茶：花いちりん 6人（交代） 	A	NPO事務局、受付事務、会計事務等問題なく処理出来ている。
	危機管理体制	勤務時間外の連絡網を作成し対応している。	A	適正に機能している。
	苦情要望等への対応	即対応を基本としている。	A	出来る限り早く対応する事を心掛けている。
	個人情報の保護及び情報公開	個人情報の保護については、万全の注意を払っている。情報公開については、インターネットで配信している。	A	万葉植物の開花情報等をもっと充実させたいと考えている。
	その他（特記事項）	特になし		
		総合評価	A	万葉の森の会が管理するようになって、憩いの館の利用率が上がり、森内の植樹の整備、松の剪定、樹木の整形などにより森が綺麗になったとの評価をしてもらえるようになってきた。

3 施設所管課による一次評価

総合評価	A
------	---

新規事業に取り組むなど、創意工夫により、利用者の増加を図っている。
万葉の森内にある樹木の生長に伴う万葉植物の生育環境を取り巻く変化に対して、適切な間伐、枝打を計画しており、適正な維持管理を図っている。
アンケートの回答数が少ないので、実施方法等を再検討する必要がある。
ホームページを積極的に活用し、町を代表する万葉文化の薫る憩いの場として、住民に周知されることを期待する。

4 内部評価委員会による評価

総合評価	A
------	---

管理運営については、協定書通りに行われていて適正である。
新規事業に取り組むなど、前年度と比較し、利用者の増加につながる取り組みは評価できる。今後も利用者のニーズを捉え、施設の利便性、サービスの向上に努められたい。
アンケートの回答者数が少ないので、協力依頼や回収方法など、一層の改善を求める。

5 外部評価委員会による評価

総合評価	
------	--

--